

令和3年度北九州市障害者自立支援協議会  
第2回相談支援部会 倫理綱領ワーキング 議事録

1 日時：令和3年10月12日（火）18：30～19：30

2 会場：ウェルとばた 8階 82会議室

3 出席者（敬称略）

小谷 香津水（きたふく相談支援センター）ワーキング座長

吉武 勝志（相談支援センタートパーズ）

井上 靖（未来サポートステーション北九州）

大森 美樹（相談支援事業所ひなた家）

花田 義久（障がい者相談支援センターすずらん）

佐藤 さをり（相談支援センターおひさま）

玉井 康二（相談支援事業所 ponYou）ワーキング副座長

4 議論

- ・座長を中心に構成員でのこれまでの意見交換を整理したものや介護支援専門員の倫理綱領資料等を参考に倫理綱領の項目を中心に議論をおこなった。
- ・仕様として、名札に入れておける簡素化したもの併せて詳しく示したものを作成してはどうかとの意見があった。
- ・項目としては
  - ①多様性の尊重（価値観、利用者のペース、利用者中心）
  - ②多職種連携（社会資源の創出、地域の中で暮らす）
  - ③意思決定のための選択（自立支援）
  - ④人権尊重、権利擁護（生きる権利、家族との関係）
  - ⑤専門職としての質の向上（説明責任、法令遵守、目的と過程）を柱として議論をおこなっていく。
- ・相談支援専門員として何を大切に何を指すのかが盛り込めたらよい。
- ・倫理綱領を策定するうえで、何のために作るのか、北九州市の相談支援らしさを大切にしていきたいとの意見があがった。
- ・マクロレベル>メゾレベル>ミクロレベルの視点での議論も必要
- ・次回は項目の一つ一つについて具体的な内容を検討する

次回：10月26日（火）18：30～（ウェルとばた 8階 82会議室）